



イギリスを知る会

第133回 セミナーのお知らせ

テーマ：「英国の土木風景 ～産業遺産から風景式庭園まで～」

講師：岡田 昌彰 さん（近畿大学理工学部 社会環境工学科 准教授）

「産業革命、パクス・ブリタニカを経て、今もなお世界の文明をリードし続ける国、イギリス。その国土に広がる誇り高さ土木風景が発信するメッセージは、今もなお世界中の人々の心に強く響き続けている。」

第86回セミナー「廃墟景観の礼賛～英国の近代化遺産から風景式庭園まで」を担当した2004年9月以来8年ぶりの登壇、光栄に感じています。今回の講演では、英国内に現存する土木遺産・産業遺産の華麗なる風景をご紹介します。美しい工場、風車、水車、水道、橋、鉄道、国防遺産、庭園、廃墟などが佇むイギリスの大地はまさに感動空間そのものです。日本ではまだまだあまり知られていないものばかりですが、産業革命以来世界の近代文明を先導し続けてきたイギリスならではの“もっともイギリスらしい風景”の1つとして是非楽しんで頂ければと思います。

2010年からは1年間、在外研究先のケンブリッジ大学にてイギリスならではの巧みな「遺産」の利活用の方法を研究してきました。また、2011年4月からは日本の「土木学会誌」の表紙にて、「英国の土木風景」と題した写真と文の連載を担当しています。連載は全20回シリーズで、2012年12月号まで継続の予定です。好評を得ておりますので、これについてもご紹介したいと思います。



Bliss Tweed Mill (Oxfordshire)

1872年完成の毛織物工場を転用したアパート

日時：7月14日（土）午後2時30分～4時30分

場所：中央大学駿河台記念館 320号室

（千代田区神田駿河台3-11-5）

電話（03）3292-3111

参加費：会員（および同伴者）2,000円

ビジター 3,000円

* 参加申込みは、7月9日（月）までに郵便
またはFAX（03）3407-8995
またはメール（ssbcjapan.sky@orange.zero.jp）
にてお送りください。

次回の予定：9月29日（土）「ケルト装飾写本の輝き：

『ケルズの書』と『リンディスファーン福音書』」

鶴岡真弓（つるおか まゆみ）さん

（多摩美術大学 教授 / 芸術人類学研究所 所長
美術文明史家）



中央大学駿河台記念館 320号室 TEL (03) 3292-3111

■JR中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩3分

■東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅下車、徒歩6分

■東京メトロ千代田線新御茶ノ水駅下車（B1）徒歩3分

■都営地下鉄新宿線 小川町駅下車（B5）、徒歩5分